



サービス : hpコンサルティング : 採用情報 : 業務紹介

[→ 前ページに戻る](#)

## ソリューション・コンサルタント

### ソリューション・コンサルタント 佐藤 慶浩

「やっても無駄だろう」は考えない。  
現実の様々な課題の中で最適解を見つけていくことが重要です。

### 効果を定量化しにくいセキュリティ分野でエキスパートとなる

プレゼンター



佐藤 慶浩

hp コンサルティング  
アジアパシフィック  
セキュリティ・ソリューション・マネージャ

#### プロフィール:

1990年11月入社  
通信工学科卒業

ソリューション・コンサルタントは、初期段階からプロジェクトに加わり、ITインフラからアプリケーションまでのすべてのニーズに対し、包括的な視点から最適なソリューションを提案します。様々なフィールドにおいてe-services、DWH、セキュリティなどの専門分野から企業を成功へと導くスペシャリストです。

この職種は、スタートの時点でお客様の目標や現状をしっかりと分析し、プロジェクトの軸をつくるところが重要です。これによって以降のプロセスでブレをなくし、プロジェクト自体の戦略的価値を高めることができます。

hp コンサルティングには業種別および技術別にソリューション・センタが設けられていて、それぞれ専門のコンサルタントがいます。プロジェクトの性格に応じて、各業種に詳しい人間、必要な技術に詳しい人間がチームを組んであたることとなります。

現在私は、技術別のうちセキュリティを担当するソリューション・センタのセンタ長となっており、ソリューション・コンサルタントとしていろいろな業種のお客様を分析・戦略立案の段階から担当して

いるわけです。

hpでは情報システムに欠かせない要因を、

- (1)パフォーマンス
- (2)高可用性
- (3)セキュリティ

のTrust三要素として定義しています。

(1)と(2)は、もうかなり手法がしっかりしてきましたし、ベンチマークテストや連続稼働時間、リカバリタイムといった定量化で効果を明確にできます。一方、セキュリティはそうはいきません。企業はどうしたら自社のビジネス効率を犠牲にせずに問題の発生を予測し、必要な予防策をとれるか、個別にセキュリティポリシーを作らなくてはならないのです。セキュリティはどこまでいってもゴールが見えない分野でもあります。

### 大局を見て小局にこだわらないという姿勢

今はセキュリティが専門ですが、過去には高可用性、インターネットに関する開発、企画、技術支援なども経験しました。

コンサルタントの仕事は、お客様がやりたいと思うことの手段を考えることがメインですので、目的をきちんと聞き出したり、その手段が正しいかどうかの検証も行います。

特に目的の確認は重要です。お客様から我々への期待を聞くとともに、「お客様自身が業務で何を期待されているか」も知っておくことがコンサルタントの大切な役割です。hpではこれを「WHATとHOWの連鎖」と呼んでいます。

ただお客様のサポート役となるだけではありません。よく「薬屋さんとお医者さん」に例えるのですが、我々はただ薬を売るのではなく、患者さんが本当はどんな状況かを診断し、正しい処方をするわけです。

なによりもお客さまに誠実であることが大切です。

私は常々、大局を見て小局にこだわらないようにしようと考えています。若い人にありがちなのは、テクノロジーの進化に自分を合わせようとするあまり、不安になってしまうケースです。それよりは大きな方向が合っていれば自分としてそれを追求してみることも必要です。セキュリティは特にそうで、長い時間かけてきた成果がようやく形になり、hpとしてセキュリティを定量化する方法を提供できるようになりつつあります。



### 大資本の企業ならではの人的資産への投資 / 寛容さ

私はhpに移って以来、その時々で既存のカテゴリに含まれない分野に取り組む宿命を負っているようです。言い換えれば、新しい芽となる技術分野を開拓するチャンスに恵まれてきました。

パフォーマンスや高可用性に脚光が浴びている段階から、ほぼ手探りでインターネット時代を見据えたセキュリティに挑戦し、その方法論を論文等で発表しています。

hpでは、度々講演や学会への参加も業務の一部として認めてくれます。これは一見生産性がゼロに見えますが、人間関係づくりで得難い価値があります。その辺をわかってくれる会社ですから、自分なりの考え方を持っている方が新たにhpに加われれば、どんどんチャンスを与えてもらえるはずで、これによってhpのビジネスの視野が広がればいいと思います。

### 著書紹介



#### 著書のご紹介

⇒ **分散コンピューティング・セキュリティ**

本サイトに記載する製品名は、それぞれ各社の商標、または登録商標です。